

平峰一貴/Kazuki Hiramine

Date : 2019/09/21,22	Event : Super GT Rd7	Class : 300 Class	Circuit : Sportsland Sugo
Team : KONDO Racing	Car : Nissan GT-R 18 Nismo GT3	Driver : 1 st 平峰一貴 2 nd Sacha Fenestras	

Qualify P4 Condition : ドライ

僕らはフリー走行で、強いアンダーステアに苦戦。チームと改善すべく懸命にデータと見つめ合いセッティングを変更。しかし、あまり大きな変更を加えず微調整のみで予選へ挑む事にしました。Q1 を担当したのは Sacha 選手。本人曰く、少しまとめきれなかった様ですが、それでもグループ A の 3 番手で通過し、自身もチームもとてもハッピーでした。車から降りてきた Sacha 選手と Q2 に向けてどうするか話し合う。結局、色々考えた末セッティングの変更は加えずそのまま Q2 へ。今回の予選は特に重要だったので少し緊張気味でしたが、いつも以上に体のウォームアップを多く行ったので、集中への入りがとても良かったです。そして、アタック自体は非常にうまく行って、我々の予想以上のタイムが出て結果は 4 番手。表彰台を狙える位置から決勝をスタートする事になりました。日曜日の予報は雨。生き残る事が最優先！！

Race Finished P8 Condition : ドライ

Start は平峰が担当。グリッドに付き作業可能時間の締め切り数分でまさかの雨。しかもスリックタイヤでも行けそうな微妙な状況でした。残り 1 分の間にウェットタイヤに交換する車両もいれば、スリックで行く車両もありました。そんな中、我々56号車が選択したのはウェットタイヤ。理由は過去の天気データや現在シリーズを争っている状況からすれば、周りに合わせた選択を取る事がリスクも無く戦えると考えたからです。そして、スタートはSCスタートに変更。結局コンディションは、雨になりウェットタイヤを選択して正解でした！前のライバル勢2台がスリックタイヤを選択していたことにより、一時は2番手までポジションアップしましたか、ブリジストン勢が非常に強く結果的に自身のステイントでは5番手で Sacha 選手に交代。彼のステイントでは周回遅れに引っ掛かってしまったり、後半は雨量が多く大変な状況でしたが、何とか5位でチェッカーを受け貴重なポイントを持ち帰りました。

Summary

スポンサー各社様、今大会も応援有難うございました。

チャンピオンシップにおいて非常に大事な一戦。結果は、自分たちのベストを尽くし5位でフィニッシュする形となりました。今大会は、非常にブリジストンタイヤを使用するライバル勢が強力でなかなか厳しい状況でした。しかし、今大会で最も大事だったことは、最後までコース上に生き残る事。それを大前提においてチームもベストを尽くしてくれました。現在シリーズランキングでは4位に付けており、チャンピオンを獲得するのは非常に難しい状況です。しかし、まだチャンピオンを獲得できる権利は残っています。

最後までチームとドライバーで一丸となり、最終戦を笑って終われるようにベストを尽くしていきます。

これから1か月近く、平峰は最後の追い込みに入ります！！引き続き応援を宜しくお願いします！！



